



学び 寄り添う

関東学院大学 看護学部

COLLEGE of NURSING

K G U 関東学院大学  
KANTO GAKUIN UNIVERSITY

2023

## 学部コンセプト

# 看護師としての基盤を大切に 私の夢をかなえる

関東学院大学看護学部は2013年、神奈川県下の深刻な看護師不足の解決のために新設されました。以来、「人になれ 奉仕せよ」の校訓のもと、高い倫理観と実践力を持った看護師を輩出してきました。

その大きな特徴は、本学の理念に基づく看護師育成に特化した教育課程にあります。4年間を純粋に看護師としての力を身につけることに集中し、医療の高度化やニーズの多様化に応えることのできる課題解決能力を身につけ、幅広い現場で、看護職として活躍していける人材の育成を目指しています。

### 総合大学で地域医療を支える従事者に

#### 校訓「人になれ 奉仕せよ」の体現

人びとの幸せに貢献するために、校訓を看護の視点で理解し、人を気遣う心や尽くす気持ちを養います。

#### 地域に支えられた学修環境

看護の多様な場をイメージし、最新の機器を揃え、総合大学である長年にわたり協働・連携する地域に支えられた環境で実習を行います。

#### 4つの学びの特徴

#### 看護対象者のニーズに応える力の育成

看護対象者の考えていること、抱えているニーズに気づき、応えていくために、実践と省察を繰り返して看護実践能力を育みます。

#### 充実した国家試験対策

国家試験に向けて着実に力が身につくよう、1年次から段階的に評価し合格に向けサポートします。

### 3つのポリシー

- 1 入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)
- 2 教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)
- 3 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

看護学部の3つのポリシーについては、大学ホームページからご覧ください。



## Message

### 謙虚に学び続ける姿勢を培う

看護学部 学部長 齋藤 訓子

看護は、ケアを受ける人と提供する人との信頼関係の上で成り立っていきます。信頼を得るには、相手の立場に立って考え、行動することが必要になります。

そして、もちろん、病いをもって療養している人々の体のことが理解でき、今、体の中で起きていることをわかりやすく説明することもその行動の中に含まれています。

大学の4年間では、看護師になったときにケアを提供する相手との信頼関係が構築できるよう、そして病いや障がい、老いなど人間の体の中で起こる現象を説明できる基盤を作っていきます。1・2年次で学ぶ解剖学や生理学、病態・治療など高校での学習の延長ではない学習が求められます。

3・4年次になるとケアを受ける対象者の特徴に合わせたケアの方法を学び、実際の療養者さんに対応していきます。そのため、学習の方法も暗記ではなく、自分で考える、仲間と議論する、実際に考えたことを実践する段階を踏んでいきます。そして何より

も与えられるのではなく、自分で求めていく姿勢、学び続けることが重要です。

看護は人々の健康と暮らしを護る責任のある仕事です。学びの途中、くじけることもあります。目的を失うこともあります。

臨地実習でついていけないこともあるでしょう。しかし、本校の校訓「人になれ 奉仕せよ」は、「人は何度でも生まれ変わる、やりなおせる」というキリスト教の教えを基盤としています。

学生時代に学ぶことは看護のごくごく一部にしかすぎませんが、4年間で謙虚に学ぶ姿勢を身につけることが、その後の看護師としての人生を豊かにしてくれるはずです。多くの仲間、実習等で出会う療養者の方々、先輩となる看護師たちから私たち教員と一緒に大いに学んでください。



#### 看護学部の学びの特色

看護専門職に求められる知識、技術、資質や能力を総合的に育みます。看護の分野では、専門的な知識や技術はもちろん、奉仕の心や態度が大切です。豊かな人間性と高い倫理観、自分で考え探求する力、自ら問いをもって答えを導き出す力、さらに多職種や地域社会と協働・連携する力を養う教育にも力を入れます。看護専門職として主体的に専門性を発揮し、自律的に行動できる人材を育てます。



#### 高い国家試験合格率

看護師という夢を目指す上で、国家試験は最大の関門です。それを乗り越えるために、1・2年次から常に学習進度を確認するなど、国家試験に向けての準備をします。また3・4年次は、年間を通して模擬試験を実施し、その結果を分析し対策講座を開講します。補講講座・個別相談なども実施し、国家試験に向けて着実に力がつくように支援します。その結果、例年の国家試験では全国平均を上回る高い合格率を実現しています。



#### 成長と奉仕の心を…、派遣式

2年次までの看護の基礎知識を学修し、3年次の秋学期から本格的に始まる実習に向けて、3年次春学期に「派遣式」を行います。本学のキリスト教に基づく教育と看護学の融合を図り、看護専門職を志向する者としての姿勢や態度として校訓である「人になれ 奉仕せよ」を内在化し、看護実践に活かされることを目的としています。

4年間の学び

# ステップアップ、未来へ

1・2年次の教養科目と専門基礎科目において、専門的な知識・技術、資質や能力の基盤となる豊かな人間性を育みます。専門科目は、基礎看護学、生活支援看護学(母性看護学、小児看護学、老年看護学、精神看護学、地域・在宅看護学)、療養支援看護学、統合看護学があります。1年次から4年次にかけて配置され、基礎から応用、机上の知識から演習や実習における実践へと段階的に学修を進めます。4年次では、学生自身が選択した強化コースの内容で学修し、看護専門職として探求し、学び続けることができる人材を育てます。



## STUDY FLOW



**【共通科目】**  
 ●キリスト教学 ●コンピュータ・リテラシー  
 ●生物学 ●心理学 ●倫理学 ●データサイエンス  
 ●語学(英語・中国語・ハンガール) など

**【専門基礎科目】**  
 ●身体の構造と機能 ●保健福祉行政論  
 ●臨床診断学 など

**【専門科目】**  
 ●基礎看護学  
 ・看護の基礎・環境と看護・看護原論  
 ・基礎看護技術Ⅰ など  
 ●生活支援看護学  
 ・小児・母性の看護学概論  
 ●療養支援看護学  
 ・成人・療養支援看護論Ⅰ  
 ●統合看護学  
 ・KGUナースの道しるべ

**実習**  
 [春] 看護の統合と実践Ⅰ(看護実習)  
 [秋] 基礎看護学実習Ⅰ



**【専門基礎科目】**  
 ●病態・治療学Ⅰ～Ⅲ ●社会保障制度  
 ●保健医療統計学 など

**【専門科目】**  
 ●基礎看護学  
 ・基礎看護技術Ⅱ・Ⅲ クリティカルシンキング  
 ・フィジカルアセスメント 看護過程 など

●生活支援看護学  
 ・老年、精神、地域・在宅の看護学概論  
 ・母性、小児、老年、精神、地域・在宅の看護学援助論  
 ●療養支援看護学  
 ・成人・療養支援看護論Ⅱ  
 ・療養支援看護学援助論Ⅰ  
 ・療養支援看護学演習Ⅰ  
 ●統合看護学  
 ・家族看護学 など

**実習**  
 [秋] 看護援助実習  
 基礎看護学実習Ⅱ



**【専門科目】**  
 ●生活支援看護学  
 ・精神看護学援助論Ⅰ  
 ・地域・在宅看護学援助論Ⅱ  
 ・母性、小児、老年、精神、地域・在宅看護学演習  
 ●療養支援看護学  
 ・療養支援看護学援助論Ⅱ  
 ・療養支援看護学演習Ⅱ  
 ●統合看護学  
 ・感染看護学 など

**実習**  
 [春] 小児看護学実習Ⅰ  
 老年看護学実習Ⅰ  
 療養支援看護学実習Ⅰ  
 [秋] 母性看護学実習  
 小児看護学実習Ⅱ  
 老年看護学実習Ⅱ  
 精神看護学実習Ⅰ  
 地域・在宅看護学実習Ⅰ  
 療養支援看護学実習Ⅱ



**【専門科目】**  
 ●生活支援看護学  
 ・精神看護学援助論Ⅱ  
 ●統合看護学  
 ・災害看護学  
 ・看護研究  
 ・看護の統合と実践Ⅱ(強化コース・論文講読) など

**実習**  
 [春] 精神看護学実習Ⅱ  
 地域・在宅看護学実習Ⅱ  
 [秋] 看護の統合と実践Ⅲ(強化コース・統合実習)

### キリスト教学

### PICK UP 授業



キリスト教への理解を軸とした幅広い教養を基に、アクティブ・ラーニングによる能動的な思考・判断の繰り返しと、他者との協働により、公平・公正な判断力を培います。キリスト教及び自校史への理解を基に、PBLやサービスラーニング等による実践的な課題解決のための学びを通じ、社会課題に対して誠実に向き合う姿勢を養います。

### 看護の統合と実践Ⅰ(看護実習)



地域連携新規科目として、子育て支援拠点、小学校、訪問看護ステーション、精神障害者生活支援センター、総合病院など、看護活動が行われるさまざまな場で、保健医療福祉・教育における多職種との連携・協働について理解します。

### 目指せ！看護師

必要な単位を修得すると、看護師国家試験受験資格を得ることができます。国家試験合格後は、提携病院をはじめ、大学病院・一般病院、診療所などの医療施設、高齢者福祉施設、訪問看護ステーションなどに看護師として勤務することができます。また、助産師や保健師、養護教諭を目指す場合は、養成課程のある大学などに、さらに看護について学びを深めたい場合は、看護系の大学院に進学することもできます。



## 地域参加型の学び

# ふれあいを育む

### 地域貢献を目指した看護学部への役割

看護学部では、大学の「人になれ 奉仕せよ」の校訓の下、「地域に支えられ、地域に奉仕する看護学部」というコンセプトを軸に、学部の様々な人的・知的資源(シーズ)や施設を活用し、人びとの健康や医療・福祉に関わる分野について公開講座を開講しています。また個々の教員は、保健・医療施設及び看護協会主催の研修会や講演、研究指導などを積極的に行うなど、日頃の教育・研究活動の成果を地域の皆様に広く還元するとともに、コロナ禍における保健所業務への応援要請にこたえるなど地域住民の健康管理にも参画しています。



## 地域貢献



### ひらめき☆ときめきサイエンス

病気別の食事を考えた自分カルテ作り 一人形のおなかを見てさわってみようー 小学校5・6年生が、食事と栄養、そして食べ物の通り道である消化管について学び、おなかのいたいなど、よくある症状のときの食事対策を考えることを目的としています。日本学術振興会の科学研究費助成事業(科研費)によって実施されている最先端の研究をわかりやすい形で知ってもらうために、看護学部の永田真弓先生を中心に実施しています。



### 学生が伝えるいのちの授業

看護学部では、学部開設当初から隣接する関東学院六浦小学校の4年生を対象に「いのちの授業」を行っています。その目的は、子どもたちが生命の尊さを知り、命のあるものを大切にすることを理解することです。

新生児人形を使った抱っこやお風呂入れ体験、妊婦ジャケットを着用した妊娠中の母親の日常生活の動きの体験などを通して、子どもたち自身が大切に育まれてきたことを学びます。

また、聴診器で互いの心音を聴き比べたり、新生児人形を使って赤ちゃんの心音と心拍数を自分たちと比べたりすることで、友達との心音を身近に感じ、成長による心拍数の変化なども学びます。

この「いのちの授業」を通して、看護学生はわかりやすい言葉を使った説明の大切さを知り、子どもたちの素直な反応に自分自身の存在の貴重さを再認識します。「いのちの授業」は看護学生自身にとっても貴重な体験となっています。

## サポート

# 「なりたい」を応援

### アドバイザー活動

看護学部では、教員が学生からの履修・学修・成績に関する相談、学生生活に関する相談、進路に関する相談などに応じたり、アカデミックリテラシー修得のための指導を行ったりするなど、学生が円滑に学修や学生生活を進めるための指導や支援を行います。このために、少人数の学生グループを設け、それぞれのグループに対してアドバイザーとなる担当教員を配置し、きめの細かい対応を行います。



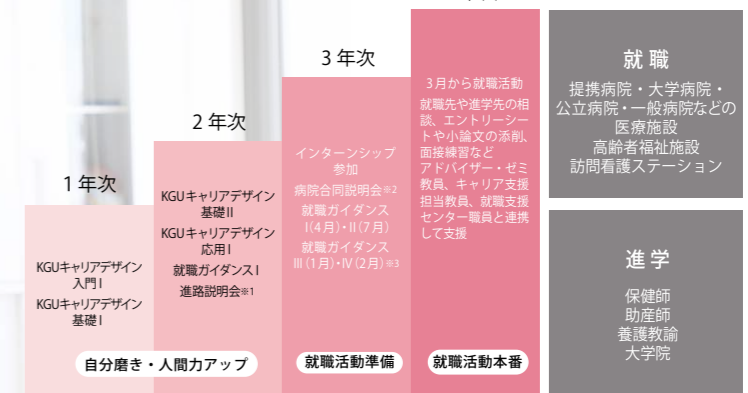
### キャリア支援

1年次には、「KGUキャリアデザイン入門」「KGUNースへの道しるべ」で、自分の将来や生き方を考え、看護職になる者としての自身の関心の探求を行っています。

関東学院大学では、総合大学の強みを活かし、就職支援センターにおいて、個別の就職相談や、履歴書やエントリーシートの書き方、模擬面接などを行う専任のスタッフが、キャリア支援活動を行っています。

加えて看護学部では、就職活動が本格化する3年次に、就職活動全体の概要を知るための「就職ガイダンス」や、先輩方に人気のあった病院関係者を招いての「病院合同説明会」を開催しています。もちろん、個別の就職相談やエントリーシートの書き方や模擬面接など、一人ひとりの学生に合わせた支援を実施しています。また、進学希望学生の相談にも応じています。

### 看護学部キャリアフロー 4年次



※1 進路説明会:卒業生や認定・専門看護師、助産師、訪問看護師のキャリアを積んだ看護職の体験談を伺い、学生のキャリア・プランニングを支援します。(WEB)  
 ※2 病院合同説明会:就職活動支援として、実習病院の方々をお招きし、病院や奨学金の説明会を開催します。  
 ※3 就職ガイダンスIII・IV:採用試験に向け、就職支援センター職員等と面接等の実践的な練習を始めます。(WEB&対面)

### ANAビジネスソリューション講師による接遇教育

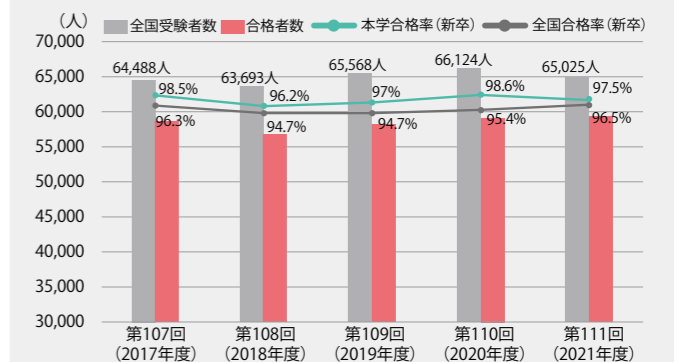
看護学部では、看護学会および教養学会の合同開催で「看護学生のための接遇&マナー研修」と題し、ANAビジネスソリューションの講師をお招きして接遇教育を行っています。

医療現場の「接遇」=「おもてなし」の重要性を理解し、医療現場だからこそ大切なコミュニケーションについて理解することを目的に、医療従事者を志す学生として、患者の視点を学んでほしいとの思いで企画しています。

コロナ禍により、ここ数年はオンライン形式での実施を余儀なくされていますが、双方向性の研修スタイルで、オンラインでのコミュニケーションマナーも学んでいます。



## 国家試験に向けて高い合格率を実現



メッセージ

# 未来探しに出かけよう

「なぜ看護師になりたいのか」「どんな看護師になりたいのか」その思いはいろいろ、描いている夢もさまざまです。目標に向かって歩き始めた在学生、それを実現し、さらにその先の未来を目指す卒業生。それぞれの思いを聞いてみました。



在学生から

## 毎日を大切にしながら夢に向かって勉強したい

看護学科3年

子どものころ、祖母の職場である福祉施設で、障がいを持った方々と触れ合った体験に大きな影響を受けました。そして、その祖母が亡くなったとき寄り添ってくれた看護師さん。その姿を見て、「私もあんな風に患者さんや家族の苦痛を少しでも和らげる仕事がしたい、その中で自分も成長したい」…。そう思ったのが看護師を目指したきっかけです。「人になれ 奉仕せよ」関東学院大学の校訓は、そんな私の思いにとっても合っていました。

今、たくさんの仲間と先生方に囲まれて勉強しています。同じ思いを持つ仲間との存在は、悩みや苦しさを半減させ、楽しさを倍してくれます。毎日が新しいことの発見、新鮮な体験にあふれています。

夢は、知識、技術を身につけコミュニケーション力を兼ね備えた看護師。今、その夢を具体的なものにするために頑張っています。そして、祖母の職場で出会ったような障がいを持つ方々を始め、全ての人が過ごしやすい環境（地域）づくりに貢献したいと思っています。看護師という素晴らしい仕事に出会えたことに感謝し、毎日を大切にしながら前進していきたいと思っています。

## 誰からも頼られ信頼されるそんな存在になりたい

看護学科3年

中学生のとき、長期の入院を経験しました。そのとき出会った多くの医療従事者の方々、とくに最も身近だった看護師さんの働く姿に憧れました。男性が多かったのも印象に残りました。「この人たちのように多くの人に頼られ信頼される存在になりたい」そう強く思い、看護師を目指すことを決めました。

関東学院大学を選んだのは、以前からその雰囲気を知っていたこと、何といても国家試験合格率の高さが決め手でした。先生方の、根拠のある分かりやすい指導のおかげで、看護師としての知識、視点や技術が確実に身につけていることを実感しています。授業以外の学びも多く、毎日新しい知識や考えに触れることができます。専門性の高い学問を学んでいくことはやりがいがありますし、同じ目標を持つ仲間との交流はとても楽しいですね。

困っている人、助けが必要な人に対して手を差し出すことの出来る人になりたいと思います。そのために必要な知識があり、誰からも頼られる存在…。それが私の理想の看護師像です。そんな夢に向かって、しっかり勉強していきたいと思っています。



在学生から

## COLUMN

注目のサークル

救命救急サークル「LINK」

4年間の大学生活において、クラブ活動・サークル活動への参加は、同期の仲間だけでなく、他学部先輩や後輩など多くの仲間と交流できる場となっています。看護学部の学生達は、比較的余裕のある1・2年生の時期に、さまざまな活動に参加し交流しています。看護学部においても、2018年に看護学部で2番目となる公認サークルが発足しました。



卒業生から

## 学び続けることの大切さを知りました

2018年度卒業(2期生)  
国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院勤務

高校生のとき、祖父を白血病で亡くしました。そのとき、最後まで祖父に寄り添ってくれた看護師さんを通して、看護師という職業に憧れました。関東学院大学看護学部に進学したのは、看護という学問を多角的に学びたい、そう思ったからです。「人になれ 奉仕せよ」という校訓にも共感しました。

新卒時から手術室看護師としてさまざまな診療科の手術に携わっています。医師、麻酔科医、MEなどと協力してお互いの専門分野を発揮し一つの手術を無事に終えたとき、看護師としてのやりがいを感じます。

そんな私の大きな支えになっているのが4年間の学生生活で学んだことです。なかでも、主体的に考える力をつけること、そして学ぶことの大切さを知ったことが大切な思い出です。

今、勤務のかたわら、大学院看護学研究科で学んでいます。職場環境をより良くしたい、母校でもう一度看護学を学びたい、と思ったのがきっかけで、看護管理学を学んでいます。

さまざまな医療スタッフとのコミュニケーションの中で自分を高め、学び続ける姿勢を忘れない。それが、今、私の目指していること、目標とする看護師像です。



### 高度な学識と心豊かな人間性をもったスペシャリストをめざして 大学院 看護学研究科(昼夜開講制)

進む高齢化や慢性疾患の増加など、疾病構造が変化しています。医療の高度化、保健サービスへのニーズは多様化など、保健・医療・福祉を取り巻く状況も大きく変わり、看護職の役割も変わろうとしています。

看護学研究科ではこれらの社会に対応できる、より高度な専門職業人養成を目指しています。看護師免許がない方も出願できる制度を設け、看護を学びたい看護職以外の方にも門戸を広げ、生涯を通して研究に取り組む姿勢を身につけ、本研究科での学びを、各現場での実践や教育で活かせる人材を輩出します。

#### 看護学研究科の4つの特徴

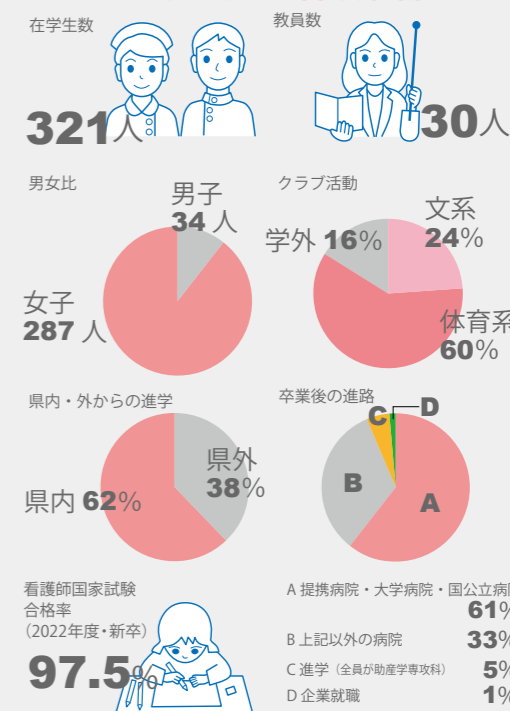
昼夜開講制	ライフワークにあった就学ができる昼夜開講制を整備
長期履修制度	就業年数を3・4年と計画的に学修を進めることができます
専門領域を超えた科目選択	「看護と法」「看護と環境」など横断的な学修が可能です
神奈川県内大学院学術交流協定	「他大学院の授業を受講し、修了単位として認定されることが可能です

入学定員：8名 学位：修士(看護学)

#### 研究分野(3分野4領域)

看護管理学分野 (看護管理学領域)  
生活支援看護学分野 (母性・小児看護学領域、高齢者・在宅看護学領域)  
療養支援看護学分野 (療養支援看護学領域)

### 数字で見る看護学部



2022年4月現在

# キャンパスライフ

## 総合大学ならではの学びの環境を提供

明るく、広大な関東学院大学「横浜・金沢八景キャンパス」の一角に、看護学部の学生が学ぶ「室の木エリア」があります。大都市横浜にあ

ることを思わず忘れてしまいそうな、美しい木立と芝生の中庭を囲むように、各施設が配置された落ち着いた雰囲気の特徴です。

総合大学ならではの、多彩で活気あふれる雰囲気のカンパスを舞台に、充実した学生生活が展開されます。



**第1看護実習室**  
一度に全学生の演習が行えるように22床のベッドが備えられており、学生4名に対しベッド1台という少人数で演習が可能です。また、大型スクリーン2個、全方向型カメラ2台、テレビ(DVD)などの設備が充実しています。



**第2看護実習室**  
2022年4月からラボ室となりました。心肺蘇生やフィジカルアセスメントのシミュレーターが充実しており、授業では実践的演習やグループワークなどを行っています。授業時間外の技術の自己練習に加え、机・図書・モデル等、自己学習のための環境を整えています。



**第3看護実習室**  
自宅で過ごす高齢・障がいのある方を想定した洋(ベッド)・和(布団・畳)室、キッチン(特殊設備としての上下可動式シンク)、トイレ、浴室があり、自宅で移動できない人のための電動介護リフトなどの設備も整っています。また、中央のスペースを使用して、グループワークやDVD学習、ゼミなども可能です。



**第4看護実習室**  
胎児モデル人形や小児医療的ケアモデル人形、妊婦腹部触診モデルや小児用呼吸音聴診シミュレータなどによる演習ができます。新生児沐浴槽、保育器、新生児ベッド、小児ベッド、診察台などがあり、病院や施設で使用されているものが用意されています。



**図書館 [E1号館2F~5F]**  
約70万冊の蔵書を誇ります。特に「星の王子さま」関連資料は200点以上あります。



**学生支援室 [E3号館1F]**  
通称「アクセル」と呼ばれています。学生生活におけるあらゆる相談を受け付けています。



**アシストセンター [E3号館3F]**  
学生がパソコンを自由に利用できます。プリンターもあり、レポートの印刷も可能です。



**MM(マルチメディア)教室 [E3号館2F]**  
情報演習の授業などで利用するための教室として、2つのPC演習室があります。

## 学生の1日 (自宅通学)



8:30~8:50  
登校



8:50~10:30  
1講時「病態・治療学Ⅰ」



10:45~12:25  
2講時 図書館で課題学習



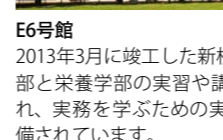
12:25~13:15  
お昼休み



13:15~14:55  
3講時「看護過程」



15:10~16:50  
4講時 実習室で自主練習



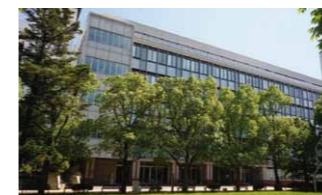
16:50~  
帰宅



課外活動: オープンキャンパス

## 年間 Calendar

4月	入学式/春学期授業開始
5月	派遣式
6月	
7月	期末試験週間
8月	夏期休業/オープンキャンパス
9月	秋学期開始
10月	学院創立記念日/大学祭
11月	
12月	大学クリスマス/冬期休業
1月	期末試験週間
2月	春期休業
3月	卒業式・学位授与式



**E6号館**  
2013年3月に竣工した新校舎。看護学部と栄養学部の実習や講義で使用され、実務を学ぶための実習施設が整備されています。



**エテルニテ**  
アシストセンターや購買部、学生食堂など学生生活をサポートするさまざまな環境が設けられています。



**学生ホール[E6号館1F]**  
学生が自由に利用できるホールが用意され、自習や情報交換の場として利用されます。

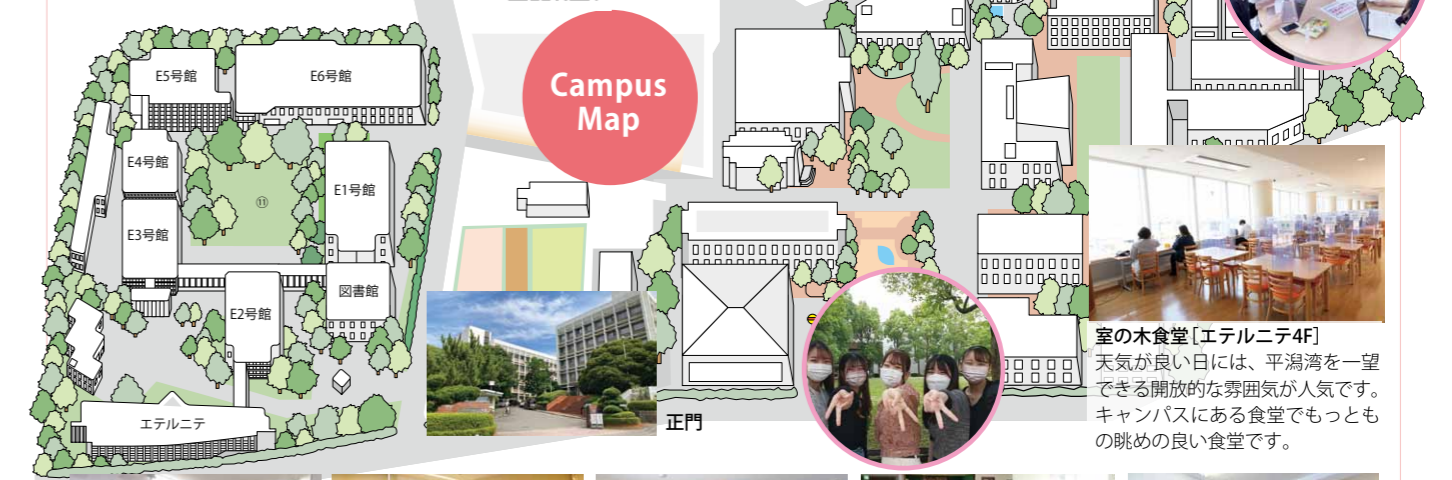


**チャペル[E5号館3F]**  
約600名を収容できます。ドイツ製のパイプオルガンが設置され、キリスト教の定期礼拝、パイプオルガン演奏会などが行われます。

## 横浜・金沢八景キャンパス

### 室の木エリア

横浜・金沢八景キャンパスはこちらのQRコードからご覧ください。



Campus Map



**学院保健センター [E3号館1F]**  
ケガをしたとき、気分が悪くなったとき、体調が悪いときなどに利用してください。



**カウンセリングセンター [エテルニテ1F]**  
学生生活で生じるさまざまな心の不安や悩みを専門スタッフに相談できます。



**購買部 [エテルニテ2F]**  
教科書のほか、雑誌・娯楽・辞典・文芸・文庫・専門書、書籍、文房具や学生生活に必要な日用品などが豊富です。



**Cafe POND [エテルニテ2F]**  
コーヒーやパン、お弁当などの軽食を提供しています。授業の合間にリラックスしたひとときをお過ごしください。



**室の木4号館食堂 [E4号館1F]**  
日替わりメニューやシェフオリジナルメニューなど、さまざまな商品を手ごろな価格で提供しています。



## 主な実習施設



国家公務員共済組合連合会  
横浜南共済病院 [横浜市金沢区六浦東]



国家公務員共済組合連合会  
横須賀共済病院 [横須賀市米が浜通]



国家公務員共済組合連合会  
横浜栄共済病院 [横浜市栄区桂町]



国家公務員共済組合連合会  
平塚共済病院 [平塚市追分]



社会福祉法人聖隷福祉事業団  
聖隷横浜病院 [横浜市保土ヶ谷区岩井町]



関東学院六浦こども園  
[横浜市金沢区六浦東]



関東学院のびのびのば園  
[横浜市港南区野庭]

## 奨学金のご案内

関東学院大学では、人物・学業ともに優秀な学生が経済的事情により学業継続をあきらめることのないよう、大学や学部独自の学内奨学金制度が設けられています。また、日本学生支援機構や地方公共団体などの外部団体による奨学金もあります。

### 看護職を目指す皆さんを応援するためのサポート体制

#### 関東学院大学独自の奨学金制度

スカラシップ制度や、給付奨学金、特待生制度などの、大学独自の奨学金制度があります。

#### 外部団体の奨学金・教育ローン制度

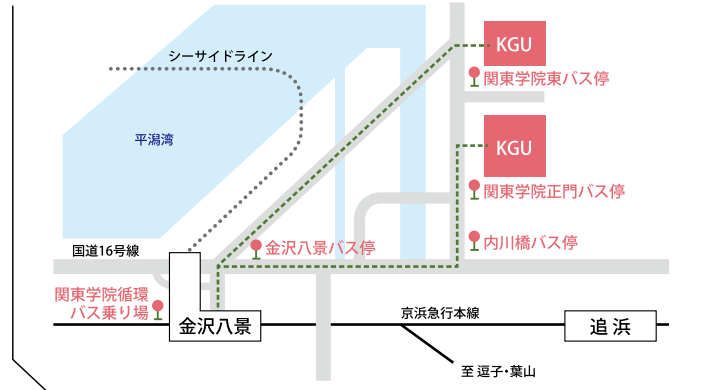
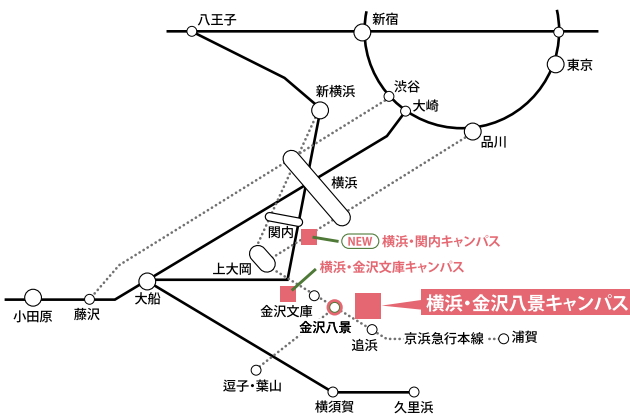
神奈川県看護師等修学資金や日本学生支援機構などの外部団体による貸与型の奨学金・教育ローン制度があります。

#### 病院・施設の奨学金制度

病院が看護職員を確保するために修学資金を看護学生に貸与するものです。将来、その病院において看護師として一定期間勤務することにより、奨学金の返還が一部または全額免除される場合があります。



各奨学金の詳細につきましては、学生生活課までお問い合わせください。045-786-7012  
また、QRコードから大学ホームページでもご覧いただけます。



**横浜・金沢八景キャンパス 看護学部**  
〒236-8501 横浜市金沢区六浦東 1-50-1

**下車駅**  
京浜急行本線「金沢八景駅」(快特・特急停車駅)  
シーサイドライン「金沢八景駅」  
**金沢八景駅からキャンパスまで**  
徒歩 約15分

#### バスA

●「関東学院循環バス乗場」  
京浜急行バス(関東学院循環)約5分

●「関東学院東」もしくは「関東学院正門」下車

#### バスB

●「金沢八景」バス停  
京浜急行バス(追浜日産自動車行)約5分

●「内川橋」下車徒歩約5分

## 関東学院大学

「受験生サイト」<https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/>

お問い合わせ アドミッションズセンター(横浜・金沢八景キャンパス)  
TEL: 045-786-7019 E-mail: nyushi@kanto-gakuin.ac.jp